

# 宍道湖におけるカビ臭調査

山根恭道

## 1. 研究目的

県では、平成19年6月1日の宍道湖カビ臭対策関係機関連絡会において確認された「今後の方針」に基づき、宍道湖のカビ臭成分であるジェオスミン濃度を定期的に測定することとしており、昨年10月上旬から発生したカビ臭に関する調査結果を報告する。

## 2. 研究方法

### (1) シジミの検査

宍道湖のヤマトシジミから検出されるジェオスミン濃度は、定期的に採集し民間の検査機関に分析委託した。検体の採集場所は宍道湖の東西南北の各4地点に設置した。

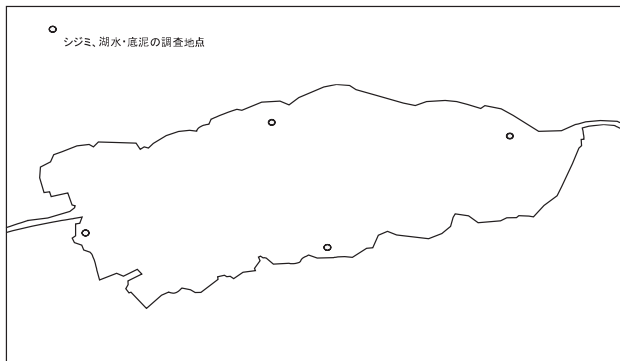


図1 調査地点

### (2) シジミ採取地点の湖水と底泥中のジェオスミン調査

湖水と底泥中のジェオスミン濃度についても第9回目のシジミのサンプリングと併せて測定した。

## 3. 結果の概要

### (1) シジミの検査

2月19日のジェオスミン濃度は、検出下限未満～300ng/kgの範囲で検出された。

### (2) シジミ採取地点の湖水と底泥中のジェオスミン調査

2月19日の湖水と底泥中のジェオスミン濃度は、湖水が11～24ng/L、底泥は検出下限未満であった。

### (3) 検査結果

#### ①シジミの調査

	採取年月日	地点数	ジェオスミン濃度 (ng/kg) (最小～最大)
1回目	H19. 10. 02	4	70～510
2回目	H19. 10. 11	4	1, 100～7, 500
3回目	H19. 10. 19	4	410～1, 400
4回目	H19. 10. 23	4	130～530
5回目	H19. 10. 30	4	220～550
6回目	H19. 11. 08	4	170～800
7回目	H19. 12. 20	4	2, 300～23, 000
8回目	H20. 01. 21	4	検出下限未満～3, 200
9回目	H20. 02. 19	4	検出下限未満～300

※ ng 10<sup>-9</sup>グラム (10億分の1グラム)

#### ②湖水及び底泥中のジェオスミン調査

	採取年月日	地点数	ジェオスミン濃度 (湖水ng/L、 底泥ng/kg) (最小～最大)	
9回目	H20. 2. 19	4	湖水	11～24
			底泥	検出下限未満

※ ng 10<sup>-9</sup>グラム (10億分の1グラム)

## 4. 今後の対応

(1) シジミカビ臭はプランクトンや細菌類によるものと考えられることから原因生物を解明しカビ臭発生予測の可能性を検討する。

(2) 宍道湖漁協によれば、「漁協に消費者や仲買業者から直接の苦情は寄せられていないが、現在も漁業者、仲買業者及び加工業者において選別の徹底や臭いの確認を行って出荷している。引き続きチェックを徹底し、安心確保に努めたい。」とのことなので、シジミの効果的な排出方法を検討する。